

巻 頭 言

インターネットや携帯電話が普及しだした頃から情報化社会という言葉がさかんに使われるようになりましたが、現代の社会は「情報過剰社会」であるとも言われています。

「ジャムの実験」と呼ばれる興味的な研究があります。スーパーの店頭に 24 種類のジャムを並べた時、買い物客の 60%が立ち寄り、その内の 3%の人がジャムを買った。同じ実験でジャムを 6種類に減らした時、立ち寄ったのは 40%の客ですが、買った人はその内の 30%になった。つまり、ジャムが 24 種類の場合の購入者は買い物客全体の 1.8%、ジャムが 6種類の場合では 12%であったということです。実験実施者は、「人は情報量が多いと興味を強く示すが、その情報量をすべてインプットし、分析し、比較するのは困難で、いざ決断する際になると迷って動けなくなる」と分析したそうです。

本誌は、進路に関する溢れるような多くの情報の中から、本校の教職員が皆さんに合うように必要な情報を精選して編集しています。皆さんにとって最も頼れる「進路決定への旅のガイドブック」として、大いに活用してください。

なお、本誌は 1 ページ目から順を追って読む必要はありません。まずは、必要なところ、興味あるところから読んでください。併せて、余裕のある時にそれ以外のところに目を通すことも勧めます。何かを見たり考えたりする時に自分の興味・関心等をもとに焦点化するばかりでなく全体を俯瞰的に見たり考えたりすること、また、自分とは異なる進路希望を持つ人がどのような取組をするのか等を知ることが、皆さんにとってとても良いことだと考えています。

皆さんがこの「進路のしおり」を有効に活用し、自分自身や自分の在り方・生き方について考え、意欲的かつ主体的に進路を切り拓いていくことを期待しています。悩むことやわからないこと等があれば我々に相談してください。我々教職員は全力で皆さんを支援していきます。

校 長 塩川 拓司